

中国共産党第十二回全国代表大会開会のことば

(一九八二年九月一日)

同志のみなさん

中国共産党第十二回全国代表大会をただいまより開幕する。

今回のわれわれの代表大会における主要な議題は次の三つである。(一)第十一期中央委員会の報告を審議し、社会主義現代化建設の新たな局面を全面的に切り開くために奮闘する党の綱領を定めること、(二)新たな「中国共産党規約」を審議し、採択すること、(三)新しい党規約の規定に基づいて新たな中央委員会、中央顧問委員会、中央規律委員会を選出すること。

今回の代表大会の任務を達成すれば、社会主義現代化建設に対するわが党の指導思想は明確なものとなり、党の建設は新たな歴史的時期の要求に即そふかなったものとなり、党の最高指導層は新旧の協力と交替を実現し、いっそう生氣はつらつとした戦闘的な司令部となることができる。

党の歴史をふりかえった場合、今回の代表大会は、党の第七回全国代表大会「一」以来最も重要な会議となるであろう。

一九四五年に毛沢東同志の主宰のもとで開かれた党の第七回全国代表大会は、党創立以後の民主主義革命の時期におけるわが党の最も重要な代表大会であった。あの時の大会では、二十余年にわたって曲折しながら発展したわが国の民主主義革命の歴史的経験を総括し、正しい綱領と戦術を定め、党内の誤った思想を克服して全党の認識をマルクス・レーニン主義、毛沢東思想の基礎の上に統一し、かつてない全党の団結をもたらした。この代表大会は、新民主主義革命の全国的勝利のために基礎を築いたのである。

一九五六年に開かれた党の第八回全国代表大会「二」は、生産手段私有制の社会主義的改造が基本的に達成された後の情勢を分析し、社会主義建設を全面的に展開するという任務を提起した。第八回大会の路線は正しいものであった。しかし、社会主義の全面的建設について、当時、党の思想準備が不十分であったために、第八回大会の打ち出した路線と多くの正しい意見は、実践の過程で貫くことができなかった。第八回大会以後、われわれは社会主義建設の面で多くの成果を収めたが、同時に重大な挫折もこうむった。

現在、今回の代表大会の状況は第八回大会の時とは大きく異なっている。ちょうど第七回大会以前、二十余年にわたる民主主義革命の曲折した発展が全党を教育して、わが国の民主主義革命の法則を掌握させたのと同様に、第八回大会以後、二十余年にわたる社会主義革命と社会主義建設の曲折した発展も全党を深く教育した。十一期中総以来、経済、政治、文化など各方面の活動の中で、わが党は正しい政策を回復するとともに、新たな状況、新たな経験を研究し、一連の新たな正しい政策を定めた。第八回大会の時に比べて、現在わが国の社会主義建設の法則に対するわが党の認識にさらに深まり、経験もはるかに豊富になり、われわれの正しい方針を貫徹する自覚と決意は大いに強まっている。今回の代表大会で定められる正しい綱領が、必ず社会主義現代化建設の新たな局面を全面的に切り開いてわが党に隆盛をもたらし、われわれの社会主義事業に隆盛をもたらすであろうことを十分な根拠をもって確信している。

われわれの現代化建設は中国の実際から出発しなければならぬ。革命にせよ、建設にせよ、外国の経験に学び、それを参考とするよう心がけることは必要である。しかし、他国の経験、他国の様式をそのまま引き写して成功したためしはない。われわれはこの面で少なからぬ教訓を得ている。マルクス主義の普遍的真理をわが国の具体的事実と結びつけ、独自の道を歩み、中国の特色を持つ社会主義を建設すること、これが長期にわたる歴史的経験を総括して得たわれわれの基本的結論である。

中国の事柄は中国の状況に基づいて行い、中国人自身の力によって行うべきである。独立自主、自力更生は、過去、現在、未来を問わず、常にわれわれの立脚点である。中国人民は、外国および外国の人民との友情と協力を大切にしながら、それにも増して、長期の闘争を経て自ら得た独立自主の権利を大切にしている。いかなる国も、中国がその従属国になるだろうとか、中国が自国の利益を損ねるような苦い果実をのみ込むだろうなどと期待しない方がよい。われわれは対

外開放政策を断固実行し、平等互恵を踏まえて、対外交流を積極的に拡大するものである。同時に、われわれは冷静な判断のもと、腐敗した外来思想の侵食を断固として阻止し、ブルジョア的生活様式がわが国に氾濫するのを断じて許さない。中国人民は自己の民族的自尊心と誇りを持っており、祖国を熱愛し、社会主義祖国の建設に全力を傾けるのを最大の光栄とみなし、社会主義祖国の利益、尊厳、榮譽を損ねるのを最大の恥辱とみなしている。

八十年代は、わが党と国家の歴史的發展段階における重要な年代である。社会主義現代化建設に拍車をかけること、台湾を含む祖国統一の実現をはかること、覇権主義に反対し、世界平和を守ること、これは八十年代におけるわが国民の三大任務である。この三大任務のうち、核心は経済建設であって、それは国際国内問題を解決する基礎である。今後長期にわたって、少なくとも今世紀末までの二十年近くの間、われわれは次の四つの仕事に力を入れなければならない。すなわち、機構の改革と経済体制の改革を進め、幹部の隊列の革命化、若年化、知識化、専門化を実現すること、社会主義の精神文明を打ち立てること、経済分野およびその他の分野に存在する反社会主義の犯罪活動に打撃を与えること、新しい党規約の真剣な学習を踏まえて党の作風と組織を整頓することである。これはわれわれが社会主義の道を堅持し、力を集中して現代化建設を進めるうえでの最も重要な保証である。

わが党はいまや三千九百万の党員を擁し、全国の政権を指導する大きな政党となっている。しかし、共産党員は全国人民の中でいついかなる時も少数を占めているにすぎない。わが党が提起する重要な諸任務には、何一つとして、広範な人民の刻苦奮闘に依拠することなしに達成できるものはない。わたしはここで、わが党を代表し社会主義現代化建設の中で勤勉に働く全国の労働者、農民、知識層に崇高な敬意を贈る。祖国の安全と社会主義建設を守る金城鉄壁の中国人民解放軍に崇高な敬意を贈る。

わが国の民主主義党派は、民主主義革命の時期にはわが党とともに奮闘し、社会主義の時期にはわが党とともに前進し、ともに試練に耐えてきた。わが党は、今後の建設においても、すべての愛国的民主党派および愛国的民主人士と長期にわたって協力するものである。わたしはここで、わが党を代表し、民主主義党派ならびに無党派の友人のみなさんに、心から感謝の意を表す。

わが党の事業は、全世界の進歩的な人々および友好諸国の支持と援助を受けている。わたしはここで、わが党を代表

し、彼らに心から感謝の意を表す。

われわれは、骨身を惜しまず努力を重ねて自分の仕事をやり遂げ、全国各民族人民との団結を強め、全世界人民との団結を強めて、わが国を現代化した、高度の文明と高度の民主性を備えた社会主義国に築き上げるために、また覇権主義に反対し、世界平和を守り、人類の進歩的事業を推進するために奮闘努力しなければならない。